

(学年) 第2学年、(教科・科目) HR 活動・人権教育

個別・協働学習

(単元) 災害と人権

(本時のねらい)

避難所生活を送る際に必要な物、配慮すべき点について考えさせる。個人で考える時間とグループで考える時間を設け、他者との協力で実際に災害が起きた時に対応できる力を養う。

(ICT 活用方法)

ワークシートを授業支援クラウドアプリで配布し、個別学習と協働学習を行った。また、電子黒板を活用しプレゼンテーションソフトで作成した資料を提示、生徒の積極的な学習活動を促すようにした。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を確認する。 災害時において、困ることや必要なもの、配慮すべき点などを挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容や目標を伝える。 避難所の写真を提示して、主観的な視点と客観的な視点の両方から考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を活用。プレゼンテーションソフトで作成した資料を提示し、本時流れを確認する。
展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> 先ほど出た意見から3つのテーマを抽出し、グループごとに意見をまとめる。 グループごとにまとめた意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「障がい者」「外国人」など、出てきた意見について、その人たちが避難所生活を送る上で、配慮すべき点について考えさせる。 他のグループの発表された意見は自分のワークシートにまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業支援クラウドアプリに配布しているワークシートにグループの意見を書き込み共有する。 共有された意見を授業支援クラウドアプリ上のワークシートに各自書き込む。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に必要となる支援物資について考える。 今回学んだことをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者への理解や共感する心をもつことと、多様性を尊重した社会を実現していくために行動していくことの大切さを伝える。 	

(授業の様子)

		
<p>グループで出てきた意見を共有する。(協働学習)</p>	<p>グループで意見をまとめる。</p>	<p>ワークシートに自分の考えを記入。(個別学習)</p>

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

電子黒板で投影した避難所生活の写真より、生徒たちは自分たちの考え、またグループでの意見を共有することができた。また、授業支援クラウドアプリを活用することで意見の共有が視覚的にも情報として入るため、理解が深まっていたと思う。